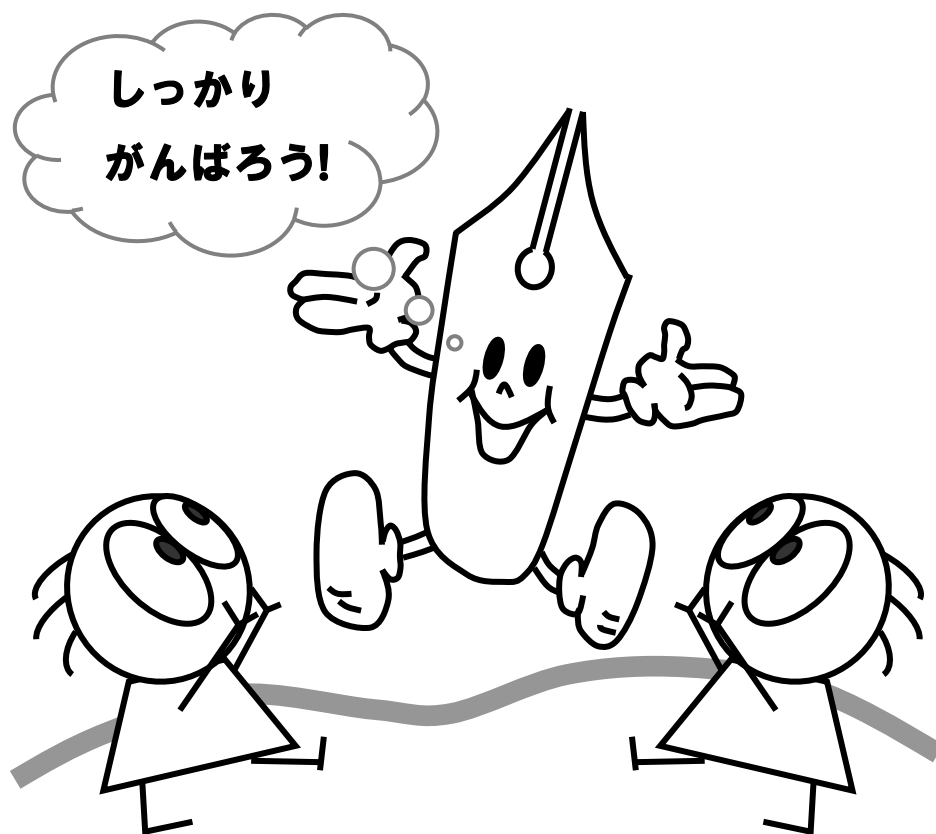


2024年 前期

『学習の進め方』

—4年生—



国 語	
テキスト内容と 授業の進め方	<p>授業用のノートを使って学習します。一部テキストに書き込むこともありますので、先生の話をしっかり聞き指示にしたがって進めましょう。</p> <p>「学びのひろば」「学びのとびら」</p> <p>導入で扱います。単元で習得する読解方法や考え方がまとめられています。動画内では、黒板を使ってその回の学習目標を説明しています。</p> <p>「文章を使って」</p> <p>文章中に出てくることばの意味の説明がページの端にあります。文章を読む際の参考にしてください。「オプション」までの様々な項目を用いて文章内容を深く掘り下げてまとめていきます。文章を構成するいくつかの大切な部分を正確にとらえて、読解の基礎となる部分を着実に理解できるようにします。</p> <p>オプションとして〈探求〉と〈シナジー〉があります。いずれも文章の内容をより深く理解するための問題です。文章内容を土台にして、自分なりの考えを深めていくことを目指します。</p> <p>「国語探検」</p> <p>国語の見聞を広げます。様々な知識を楽しく覚えていきましょう。</p> <p>「読む」「書く」ツール</p> <p>主語・述語・修飾語が整った文を作成するための練習と、様々な表現力を学習します。記述問題にも活かせるポイントとなります。</p>
家庭学習内容と 学習の進め方	<p>最初に授業の復習をしっかりしてください。本科テキストの文章を音読した後、授業用ノートを参考に内容を整理しましょう。宿題の一部は「栄冠への道」に直接書き込みができますが、できるだけ宿題用ノートを使ってください。</p> <p>【栄冠への道】「思い起こし①②」はできるだけ授業があった日に「栄冠への道」に書き込んでやっておきましょう。</p> <p>「学び直し①②③」はできるだけ宿題用ノートにしてください。ノートに写すのが困難な問題は「栄冠への道」に直接書き込んでもらってもかまいません。「栄冠への道」に直接書き込んだ問題も含めて、保護者の方には○つけとチェックをお願いします。</p> <p>【計算と漢字】宿題用ノートを使って3～4日に分けて練習してください。漢字を覚えるにはくり返し練習することが大切です。また、漢字を間違えて書いていないか一度目の練習の時に○つけをすると効果的です。</p>

算 数	
テキスト内容と 授業の進め方	<p>「本科テキスト」は「学びのひろば」・「学びのとびら」・「学び」・「私がつくったプロセスから学ぶ」「オプション」の構成となっています。</p> <p>「学びのひろば」は大きな単元ごとに、「学びのとびら」は各回に、学習内容と実感しやすい身の回りのものなどを結びつける導入部分です。時間があれば、読んでみてください。日能研の授業やweb授業では、扱っていません。</p> <p>「学び」は先生が皆さんと問題の解き方を理解する部分です。ここで習ったことを「やってみよう」「学んだことを使う」で練習をしていきます。</p> <p>「私がつくったプロセスから学ぶ」はその単元の理解をさらに深める問題や、学習内容の類題で考え方を使いこなすための練習問題です。</p> <p>「オプション」は「探究」と「シナジー」という2種類の課題があり、「探究」は1人で取り組む課題、「シナジー」は仲間とともに取り組む課題となっています。</p> <p>web授業では「学び」は全部扱います。また、「私がつくったプロセスから学ぶ」の中から「学び」の対応問題、また重要な応用問題を扱います。</p>
家庭学習内容と 学習の進め方	<p style="text-align: center;">※「栄冠への道」が学習内容の練習と理解の確認を行う教材です。</p> <p>(1)「思い起こし」は 「①授業での自分を思い出してみよう」 「②授業での自分を思い出すときの手がかりにしてみよう」 の2つの部分からできています。 課題に取り組む前に、目を通してみましょう。</p> <p>(2)「学び直し」は 問題に取り組むことで、授業の理解を確認します。主に、学び直し①と学び直し③を中心に組み込んでください。メールマガジンで各回の学習を進める目安をお伝えしますので、しっかり練習してください。よくわからないときは、もう一度、授業映像を見直してみるか、栄冠への道 「思い起こし②授業での自分を思い起こすときの手がかりにしてみよう」をよく読んでみてください。また、得意な単元やよく理解できている単元では、よりレベルの高い問題にチャレンジしてみましよう。学び直し②は学習した内容をより深める研究課題が収録されています。余裕のある人は取り組んでみましょう。</p> <p>(3)「ひとりで問題と向きあうための準備」は、練習量を補うための問題です。理解に不安のあるときは繰り返し練習してみてください。</p> <p>※「栄冠への道」の他に、「計算と漢字」という教材があります。これは、直接、学習回の内容とは関係がありませんが、算数の基本は言うまでもなく、計算です。計算ミスが多い場合や計算のスピードが遅い場合など取り組んでください。</p>

理 科	
テキスト内容と	<p>【学びのひろば】 ものごとの考え方を身近な例と共に学ぶものです。</p>

<p>授業の進め方</p>	<p>【学びのとびら】 本文に向けての導入となっています。</p> <p>【本文】 各回の学習内容が詳しく書かれています。授業(動画)では、本文中の図やグラフ・表をもとに、講義形式で解説していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もつと：本文で学んだことに関係するさまざまな例を紹介しています。 ・ 素材と出あおう：本文の内容に関連した、中学入試で取り上げられることの多い知識をまとめています。宿題で知らないことが書いてあるとき、この部分も探してみましょう。 <p>【オプション】 知識や考え方を身につける方法を学習するための課題です。 <探究><シナジー>の2種類があります。それぞれ異なる視点から、授業で学んだ知識の確認と整理を行います。授業(動画)では<探究>を扱うことがあります。</p> <p>【素材の宝石箱】 学習した単元に関連した、やや難しい内容の読み物です。テスト範囲ではありません。</p>
<p>家庭学習内容と学習の進め方</p>	<p>① テキスト本文の読み直し</p> <p>読み直すときは、絵や図、グラフをしっかりと確認しながら読みましょう。できれば音読してみましょう。</p> <p>オプションは、授業内容をさらに深く理解するのに役立つ問題です。オプションを解くときには、オプション探究を中心に取り組んでください。</p> <p>② 栄冠への道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 思い起こし：授業を思い出すための読み物です。問題を解く前に読み、 <input type="checkbox"/>にチェック✓を入れましょう。 ・ 学び直し：授業内容の基本事項を確認する問題です。指定された範囲の問題を、宿題用ノートに解きましょう。わからない問題があってもそこで手を止めず、いったん飛ばして最後までやりきってください。 解き終わったら、すぐに答え合わせをしましょう。 まちがえた所は、テキストや授業内容をまとめたノート、そして、解答を確認しながら、まちがい直しをしておきましょう。 <p>「オプション」「栄冠への道」の丸つけをする時に、まちがえた問題にチェック✓を入れておくと、復習するときに役立ちます。</p>

社 会	
テキスト内容と 授業の進め方	<p>・授業の進め方とWeb 授業の受け方</p> <p>「授業用ノート」「宿題用ノート」を準備してください。</p> <p>動画では黒板に重要事項が写されます。しっかり学習しましょう。とくに先生から「ノートに書くように」という指示はありませんが、「ノートに書いて覚えよう」と思ったところは動画を止めてノートに写しましょう。</p> <p>・テキスト内容について</p> <p>「学びのひろば」「学びのとびら」</p> <p>各回の学習のねらいが書かれています。とくに「学びのとびら」はよく読んでおきましょう。</p> <p>「本文」</p> <p>①～に各回の学習内容が詳しく解説されています。Web 授業は、黒板を使って講義形式で解説します。地図や図、グラフにも注目してください。これらを活用して学習することで、より知識を定着させやすくなります。</p> <p>「地図シート」で出てきた地名などを確認することも大切です。</p> <p>「やってみよう」</p> <p>テキストに書き込んで確認しましょう。</p> <p>「社会探検」</p> <p>その回に関連する、歴史的背景や時事的なことがらなどについて示されています。動画でふれられたものや興味のあるものは読んでおきましょう。</p> <p>「オプション」</p> <p><探求> 個人で課題に取り組む形式です。テキスト本文に関連させ、さらに考えて解答を作成する内容になっています。web 授業においては、オプションを扱うわけではありません。余裕があれば取り組んでみましょう。</p> <p><シナジー> 仲間とともに課題に取り組む形式です。</p> <p>時間があれば、問題を読んで考えてから解答をみてください。いろいろな解答が考えられます。頑張ってみましょう。</p>
家庭学習内容と 学習の進め方	<p>①最初に本科テキストをしっかりと見直しましょう（復習はとても大切です）。</p> <p>②「栄冠への道」</p> <p><思い起こし></p> <p>よく読んで、授業を思い出しながらチェックしていきましょう。</p> <p><学び直し①> 授業での自分を思い出しながら取り組んでみよう</p> <p>「栄冠への道」に直接書き込んで知識を定着させましょう。</p> <p><学び直し③> 演習</p> <p>この部分は「宿題用ノート」を準備して、そのノートに答えを書いてください。そののち、解答をみてマルつけ、間違い直しをしてください。</p> <p><学び直し②> 研究してみよう</p> <p>この部分は問題を読んで考えてから解答をみてください。</p>

※必要があれば、「地図シート」を参照するようにしましょう。

※「授業用ノート」「宿題用ノート」を準備してください。